

多方面で活躍する卒業生

就農



高橋 利之

(令和3年度研究科卒)

私は農業大学校卒業後に親元就農し、父の水稻を手伝いながら新規に畑作部門を始めました。主にソバや秋冬人参、里芋を栽培しています。

私は農業高校出身で、当時から農業に携わりたいと思い農業大学校に進学しました。在学中は作物専攻に所属し、4年間を通してソバの研究に取り組みました。

農業大学校では様々な農業の基礎や知識、技術を学ぶことができ、農業仲間もできたので、とても充実した学生生活を送ることができました。



土屋 耀脩

(令和3年度農学科卒)

私は農業大学校を卒業後、親元就農しました。

我が家では水田60ha、露地畑7haで、水稻が基幹品目の経営を行っています。まだ勉強不足でうまくできないことが多いですが、時間をかけ学びつつ、日々頑張っています。

今後は畑作部門にも力を入れて、経営発展を目指しています。

在学中は農業機械の運転や農学について様々な勉強ができました。また、同じ志をもった後継者や関係機関に就職した仲間たちと出会えたことは、私の財産です。



山村 晴希

(令和3年度農学科卒)

私は卒業後、新規就農し、現在は露地野菜経営をしています。

農業大学校では情報経営専攻に所属し、栽培方法や農業機械の操作、経営に必要な知識を学ぶことができました。また直売所や社稷祭等で野菜を販売し、消費者との交流や経営ノウハウなど、様々な経験を積むことができました。

私は、農業大学校で友人と共に学び、毎日楽しく過ごせたことは、とても良い経験になりました。この学校に入学して良かったです。



志賀 唯士

(令和3年度研究科卒)

私は農業大学校を卒業後、有限会社沼南ファームに就職しました。

主に水稻生産に関わる業務に携わり、田植え機のオペレーターや、水管理、出荷作業、トラクターによる耕耘などを行っています。

農業大学校では、様々な講義を通して農業の基本的な知識を習得し、また農場実習を通して、実践的な技術を身につけることができます。

同じ志をもつ友人と寮で過ごす時間はかけがえのないものであり、近隣農家の方の下でアルバイトをした経験は、今の仕事での自信に繋がっています。



柳原 美優

(令和3年度農学科卒)

私は現在、多古町にある有限会社ジェリービーンズで働いています。主に母豚と産まれてきた子豚の管理をしています。

農業大学校では畜産専攻教室に所属し、豚の飼育管理や飼料作りなど養豚の基礎から実践的な技術について、実習を通して幅広く学ぶことができました。

毎日体調変化が起こる豚の管理は大変ですが、元気に育った豚を見るとやりがいを感じます。これからも安心・安全でおいしい豚肉を届けられるよう頑張っていきたいです。